

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	るんるんジャンプ		
○保護者評価実施期間	2024 (R6) 年 4月 1日		～ 2025 (R7) 年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2024 (R6) 年 4月 1日		～ 2025 (R7) 年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025 (R7) 年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個々の適正に応じた支援とビジョントレーニングを行い、将来に向けての取り組みが出来ます。	・個々の好きなことだけをするのではなく、苦手な分野にも取り組めるように支援します。 ・ビジョントレーニングソフトや体育館・公園で遊びを通して感覚及び運動機能の発達を促します。 ・低学年、高学年、男の子、女の子が自然に取り組める内容を日々模索しながら支援を実施。	・構造化の推進 ・ビジョントレーニングソフトの追加 ・スタッフの募集
2	・個性を肯定する居心地を重視し、多感な成長期に様々な経験をしてもらい、経験を積み重ねて大切な思い出を重ねてもらえる。	・自由遊びや集団行動を通じて、個人の5領域(①環境・生活②運動・感覚③認知・行動④言語・コミュニケーション⑤人間性・社会性)に基づき、支援計画策定を行い、日々取り組みます。 ・季節イベントや集団ゲームを通じて、協調性やルール順守などの経験値を高められるように支援します。	・イベントでの集団行動や経験の積み重ねの充実化
3	・利用者様の日々の状況を連絡帳やSNS、送迎時を利用して保護者様に報告、連携を重ね、出来る限り多くコミュニケーションをとれるようにしている	・利用者様の日々の行動や言動で気づいたことをスタッフ全員で共通認識を図り、今後の取り組み方を検討しています。 ・保護者様、相談支援専門員の方と連携を図ると共に、地域同業施設との連携を図るようにしています。	・Webシステムを利用した面談の簡素化 ・保護者連携のICT化の推進

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・子どもの要望に可能な限り対応できる反面、わがままが通る事が多い。	・支援員が未熟で専門的知識が少ない。 ・集団遊び等の経験が少ない支援員が多く、長続きしない。	・事例別の研修の増加と充実性の向上が必要。 ・集団遊びの経験値向上
2	・専門人材(理学療法士、作業療法士、言語療法士、心理担当職員など)の専門性の高い人材が不在	・利用者様個人の早い時期での言語能力向上や言葉の使い方などを早い段階で習得させたい。	・スタッフ募集の継続化 ・他事業所との連携の活性化
3	・スタッフの人員不足と高齢化	・スタッフの年齢層が高いことや女性スタッフの強度行動障害に対する適応能力が低い	・スタッフ募集の継続化